

会員の節水活動レポート

団体・企業・行政機関・個人別に会員の皆さんの節水の取り組みを紹介していきます。ぜひ今後の節水の参考にしてみたいかがでしょうか。

団体活動レポート

財団法人 化学及血清療法研究所 様

設備投資と細やかな点検で節水を実現中

安全性・有効性の高い医薬品の開発・供給を担うと共に、環境保全への活動も積極的に行っている化学及血清療法研究所。省エネルギーを実現するために最新設備を取り入れて効率アップを図り、水使用量の削減につなげています。

「大きな成果を生んだのは、蒸気(重油)使用の吸収式冷凍機を、効率の高いターボ式冷凍機と電気式空冷チラーに更新したこと」と環境総務課の本田課長。水はもちろん、電力やCO₂排出量も削減できたそうです。また、機械装置の中で発生する無駄な水の使用を減らすため、水量計を数多く設置。



更新された製造棟のターボ式冷凍機。より効率が高まったため、省エネルギーへとつながったそう。

本館の冷温水空冷チラーも、設備投資により更新された機械。省エネルギーに一役買っている。



定期的に水量計を点検し使用量の増減をチェック。水周りの不備を発見するのに役立っている。

化学及血清療法研究所 様の主な取り組み

- 設備投資を行うことで効率を上げて水使用量を削減
- 水量計を数多く設置することで、無駄な水使用を徹底防止
- きれいなブロー水をためる中水設備を設置し、再利用に務める
- 所内の水周りへの節水コマの取り付け
- トイレには擬音装置を設置
- 毎月1回、所内で「環境ニュース」を作成して配布。全社員の意識の向上に努める

わくわく節水倶楽部の入会状況

〔平成21年10月末現在〕

延べ構成人数139,109人

〔174団体、384事業所、13行政機関、1,034個人(世帯)〕



毎月1回発行される「環境ニュース」。社員発信による節水術など、環境にまつわる内容が満載。

定期的に点検し、無駄な水使用を防ぐことにも努めているそうです。

また、製造棟にはきれいなブロー水を溜めて屋上へ送り、冷却塔やトイレ用に再利用できる中水設備を設置。余剰分は配管を延長し、隣の棟の冷却塔にも利用できるようにするなど、全所的に節水への工夫・改善が続けられています。

これらの成果により、2005年度をピークに、水資源投入量、総排水量ともに年々減少。2008年度は水資源投入量で対前年度比6%減少、総排水量も2.3%減少に成功しています。

企業活動レポート

ダイエー熊本下通店 様

節水はもちろんですが「水保全」も大きなテーマ

衣・食・住の様々な分野で地域住民の生活を支えるスーパーマーケット・ダイエー。1987年、他社に先駆けて牛乳パックの回収をスタートさせるなど、以前から環境保全に積極的に取り組んでいます。もちろん、節水への取り組みも盛んです。

下通りにあるダイエー熊本下通店では、食品フロアの手洗い機は元栓を絞りを、水量を少なくすることで節水を実践。「鮮魚・青果売場や惣菜コーナーは水を使う機会が多いので、大きく貢献しています」と副店長の土井さん。さらに、各フロアのト



全従業員が持っている同社オリジナル「環境リーフレット」。環境保全の意識向上に一役買っている。

イレには擬音装置を設置。トイレの流水はバルブを調節して適正量にすることで、大きな効果をあげているそうです。

そしてもう一つ、「水保全」の観点から廃油にも細心の注意が払われています。食品フロアから出る大量の廃油は「廃油置き場」に集めてリサイクルしています。「熊本の宝である地下水を守るために、できることを考えていきたい」。そんな想いが、さまざまな活動の原点となっています。



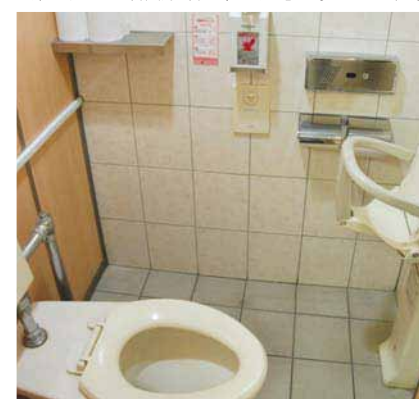
水を使用する機会が多い食品フロアでは、元栓を絞って水量を少なめに調節。同社が進める「省資源・省エネルギー」の考え方は全従業員へ浸透している。



整備された廃油置き場。万が一、廃油がこぼれたときに使う掃除道具なども完備。

ダイエー熊本下通店 様の主な取り組み

- 食品フロアの手洗い機は元栓を絞って水量を調整
- 各フロアのトイレに擬音装置を設置
- トイレの流水はバルブを調整して適正量に設定
- 水を汚染しないように、廃油は徹底管理のもとリサイクル
- 「環境リーフレット」を配布し、全従業員の意識を向上



全フロアに設置される擬音装置。利用者が多いだけに、大きな効果をあげている。